

2.3.2 DDC 方式による読み出し原理

アップ・コンバートとダウン・コンバートを含むフィード信号の合成・分離と、MKID との共振による信号の状態変化を図 2.5 に模式する。図 2.4 の I/Q ミキサー (I/Q Mix) は、構成要素に分解すると、2 つの混合器とハイブリッド・カプラーからなる。

分配器 (Div) と混合器 (Mix)、ハイブリッド・カプラー (Hyb)、MKID、ローパス・フィルター (LPF) は、理想的な素子であるとして次のように定義する。

Div: 分配器は、信号のエネルギー E を $1/n$ に等分配する。

$$\text{Div}(E, n) \stackrel{\equiv}{\neq} \frac{E}{n} \quad (2.1)$$

Mix: 混合器は、2 つの信号 S_1 と S_2 を混合 (乗算) する。

$$\text{Mix}(S_1, S_2) \stackrel{\equiv}{\neq} S_1 S_2 \quad (2.2)$$

Hyb, Hyb^{-1} : ハイブリッド・カプラーは、2 つの入力信号 $S_1(\theta_1)$ 、 $S_2(\theta_2)$ に対し、位相を保存したもの (0 回転) と位相を $\pi/2$ 回転したものを合成 (和算) する (Hyb)。逆に、1 つの入力信号 $S_{12}(\theta_1, \theta_2)$ に対し、位相を保存したものと位相を $-\pi/2$ 回転したものに分解する (Hyb^{-1})。

$$\text{Hyb}(S_1(\theta_1), S_2(\theta_2)) \stackrel{\equiv}{\neq} S_1(\theta_1) + S_2\left(\theta_2 + \frac{\pi}{2}\right) \quad (2.3)$$

$$\text{Hyb}^{-1}(S_{12}(\theta_1, \theta_2)) \stackrel{\equiv}{\neq} \begin{cases} S_1(\theta_1) \\ S_2\left(\theta_2 - \frac{\pi}{2}\right) \end{cases} \quad (2.4)$$

MKID: MKID は、ある信号の振幅 A と位相 θ に対して次のような変換をする。

$$A \rightarrow A', \quad \theta \rightarrow \theta + \phi \quad (2.5)$$

LPF: LPF は、ある信号 $S(t) = \sum_i e^{j\omega_i t}$ に対し、周波数 ω_c より大きい項をゼロにする。

$$\text{LPF}(S(t), \omega_c) \stackrel{\equiv}{\neq} \sum_{\omega_i < \omega_c} e^{j\omega_i t} \quad (2.6)$$

これらの素子を使って、DDC 方式による、 N 個の MKID の多重読み出しを考える。簡単のために、DAC から出力する信号は 1 に規格化し、個々の MKID の共振周波数を $f_i (= \omega_i/2\pi)$ 、LO の周波数を $f_{\text{LO}} (= \omega_{\text{LO}}/2\pi)$ とする。

アップ・コンバート

DAC の出力信号 $S_1(t)$ 、 $S_2(t)$ は、次のように書ける。

$$\begin{aligned} S_1(t) &\stackrel{\equiv}{\neq} \sum_{i=1}^N \cos \omega_i t, \quad (i = 1, 2, \dots, N) \\ S_2(t) &\stackrel{\equiv}{\neq} \sum_{i=1}^N \sin \omega_i t, \quad (i = 1, 2, \dots, N) \end{aligned} \quad (2.7)$$

Div で分配した、LO 信号 $S_3(t) = A \cos \omega_{\text{LO}} t$ と DAC の出力信号 $S_1(t)$ 、 $S_2(t)$ を Mix で混合し、それらの信号をそれぞれ、 $S_{13}(t)$ 、 $S_{23}(t)$ とすると、

$$\begin{aligned} S_{13}(t) &\stackrel{\equiv}{\neq} \text{Mix}(S_1(t), S_3(t)) = \sum_{i=1}^N \frac{A}{2} \left\{ \cos(\omega_i + \omega_{\text{LO}})t - \cos(\omega_i - \omega_{\text{LO}})t \right\} \\ S_{23}(t) &\stackrel{\equiv}{\neq} \text{Mix}(S_2(t), S_3(t)) = \sum_{i=1}^N \frac{A}{2} \left\{ \sin(\omega_i + \omega_{\text{LO}})t + \sin(\omega_i - \omega_{\text{LO}})t \right\} \end{aligned} \quad (2.8)$$

となる。混合後の信号 $S_{13}(t)$ 、 $S_{23}(t)$ を Hyb で合成し、フィード信号 $S_{\text{feed}}(t)$ にする。

$$S_{\text{feed}}(t) \stackrel{\equiv}{\neq} \text{Hyb}(S_{13}(t), S_{23}(t)) = \sum_{i=1}^N A \cos(\omega_i + \omega_{\text{LO}})t \quad (2.9)$$

MKID による変調

フィード信号 $S_{\text{feed}}(t)$ は、MKID により以下の変換を受ける。

$$S_{\text{feed}}(t) \rightarrow S'_{\text{feed}}(t) = \sum_{i=1}^N A'_i [\cos(\omega_i + \omega_{\text{LO}})t + \phi_i] \quad (2.10)$$

ダウン・コンバート

MKID により変換されたフィード信号 $S'_{\text{feed}}(t)$ は、 Hyb^{-1} によって分解される。

$$\text{Hyb}^{-1}(S'_{\text{feed}}(t)) = \begin{cases} \sum_{i=1}^N A'_i \cos[(\omega_i + \omega_{\text{LO}})t + \phi_i] \stackrel{\equiv}{\neq} S'_1(t) \\ \sum_{i=1}^N A'_i \sin[(\omega_i + \omega_{\text{LO}})t + \phi_i] \stackrel{\equiv}{\neq} S'_2(t) \end{cases} \quad (2.11)$$

分解した信号 $S'_1(t)$ 、 $S'_2(t)$ は、再度 Mix で LO 信号 $S_3(t)$ と混合し、 $S'_{13}(t)$ と $S'_{23}(t)$ を ADC に入力する。

$$\begin{aligned} S'_{13}(t) &\stackrel{\equiv}{\neq} \text{Mix}(S'_1(t), S_3(t)) = \sum_{i=1}^N \frac{A''_i}{2} \left\{ \cos(\omega_i t + \phi_i) + \cos[(\omega_i + 2\omega_{\text{LO}})t + \phi_i] \right\} \\ S'_{23}(t) &\stackrel{\equiv}{\neq} \text{Mix}(S'_2(t), S_3(t)) = \sum_{i=1}^N \frac{A''_i}{2} \left\{ \sin(\omega_i t + \phi_i) + \sin[(\omega_i + 2\omega_{\text{LO}})t + \phi_i] \right\} \end{aligned} \quad (2.12)$$

ここで、 $A''_i \stackrel{\equiv}{\neq} A'_i A$ とした。